

# 平成 29 年度 学校評価アンケート集計結果について

平成 30 年 2 月  
仙台市立松森小学校

向春の候 保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動に対し、ご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年 1 1 月に実施した学校評価のご協力ありがとうございました。すでに「学校だより特別号」（平成 30 年 2 月 2 日）にて、課題と今後の取組についてはお知らせしていたところですが、下記の通りアンケート全体の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。質問項目 1～12 は児童、保護者、教職員の三者に共通の内容でアンケートを実施しました。グラフは回答の割合を表しています（グラフ内の数字は回答人数になっています）。

★回答数 保護者：213名、教職員：19名、児童：245名

A：よく当てはまる B：当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない

\* 無回答がある場合、それぞれの合計人数が合わない項目があります。また教職員は職種によって回答していない項目があります。

## I 結果の概要

全体的な傾向として三者とも評価の高い項目（A+Bで80%以上）は、「楽しく学校生活を送る」「協力して活動する」「相手の気持ちを考えて行動する」「仲の良い友達がいる」「勉強が分かる」「進んで運動に取り組む」でした。その他、保護者、教職員ともに評価が高かった項目は「いじめ防止対策」「情報の発信」「教育相談」でした。

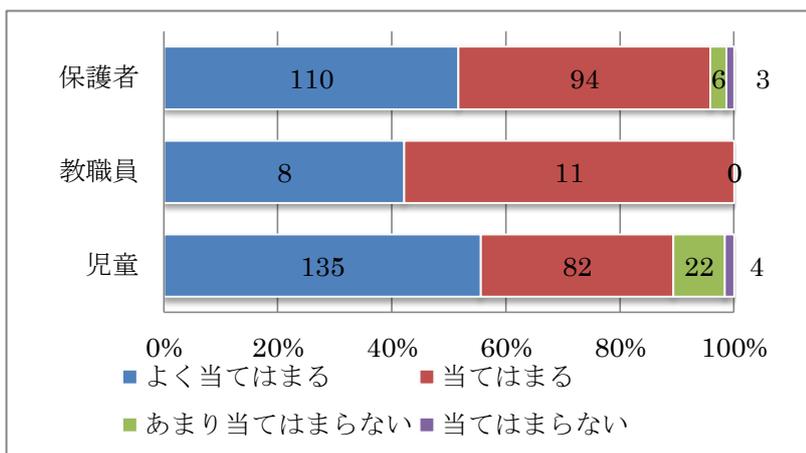
今後の課題としては、「あいさつの質」「学習状況」「テレビ視聴・ゲーム」の項目が挙げられます。

### ○ 学校生活全般

※数字は該当人数

1

【保護者】おさんは自分らしく楽しく学校生活を送っていると思いますか。  
【教職員】子供たちは楽しく学校生活を送っていると思うか。  
【児童】学校は楽しいですか。



90%近くの子供たちが「学校は楽しい」と回答しました。保護者、教職員も同様に感じています。

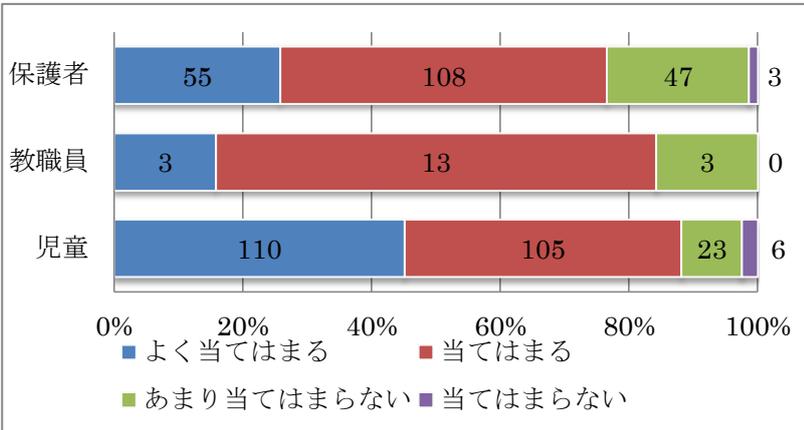
これからも児童にとって学校で学習すること、友達と一緒に活動したり遊んだりすることが楽しいと感じられるように努めていきたいと思えます。

○ 協働型学校評価重点目標

※数字は該当人数

2

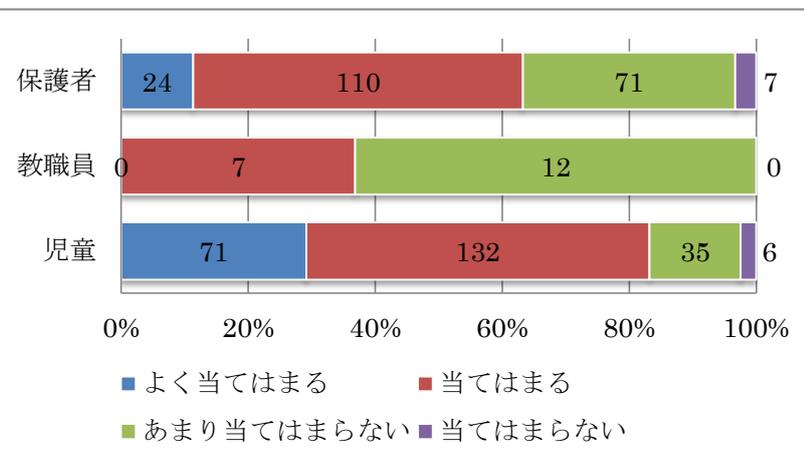
【保護者】 お子さんは「はっきりとした声」であいさつすることができましたか。  
 【教職員】 子供たちは「はっきりとした声」であいさつすることができているか。  
 【児童】 「はっきりとした声」であいさつすることができましたか。



「はっきりとした声であいさつする」ことは、保護者、教職員、児童ともに概ね「できた」と評価しています。協働型学校評価の重点目標として学校、家庭での改善活動の取組の成果が表れました。

3

【保護者】 お子さんは「相手より先に」あいさつすることができましたか。  
 【教職員】 子供たちは「相手より先に」あいさつすることができているか。  
 【児童】 「相手より先」にあいさつすることができましたか。

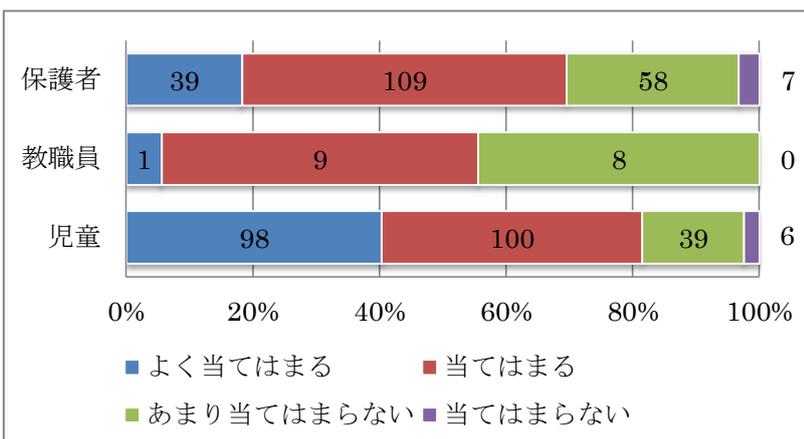


「相手より先にあいさつすること」については、80%を超える児童が「できた」と評価していますが、保護者は60%程度にとどまりました。教職員は「できた」と捉えている割合は40%を下回りました。

「相手より先に」あいさつ子供たちを育てるための改善活動を今後も継続していきます。

4

【保護者】 お子さんは「相手の目を見て」あいさつすることができましたか。  
 【教職員】 子供たちは「相手の目を見て」あいさつすることができているか。  
 【児童】 「相手の目を見て」あいさつすることができましたか。



「相手の目を見てあいさつすること」についても、児童の評価は概ね高くなっていますが、保護者、教職員の「できた」という評価は70%（教職員は60%）を下回っています。

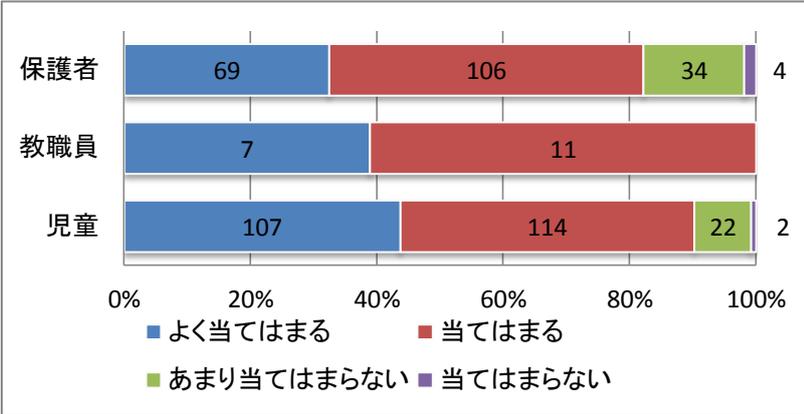
相手の「目を見て」あいさつする子供たちを育てるための改善活動を今後も継続していきます。

○ 認め合う子

※数字は該当人数

5

【保護者】 お子さんは家の手伝いを家族と協力して取り組める子だと思いますか。  
 【教職員】 子供たちは友達と協力して係活動や当番活動に取り組んでいるか。  
 【児童】 友達と協力して係や当番の仕事に取り組むことができましたか。

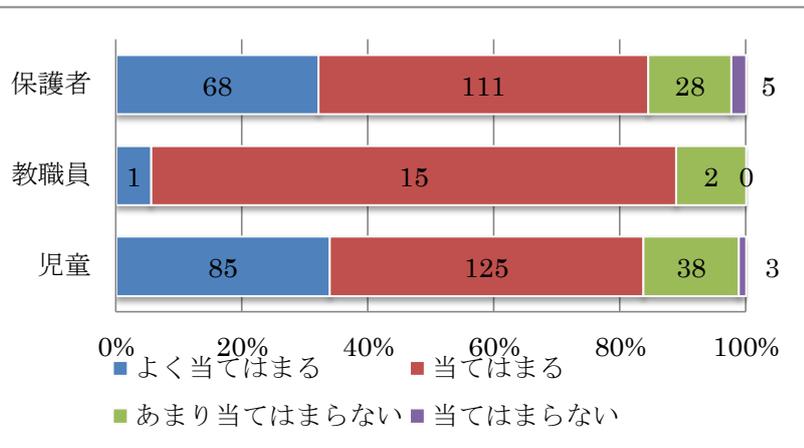


多くの子供たちが、学校では友達、家庭では家族と協力して生活していることがうかがえます。

今後も学校ではクラスや学年、縦割り活動、委員会活動等で協力して取り組む機会を通じて「役に立ち続ける子」を育てていきます。

6

【保護者】 お子さんは相手の気持ちを考えて話したり行動したりしてみんなと仲良くできる子だと思いますか。  
 【教職員】 子供たちは相手の気持ちを考えて話したり行動したりしているか。  
 【児童】 相手の気持ちを考えて、話したり行動したりしていますか。

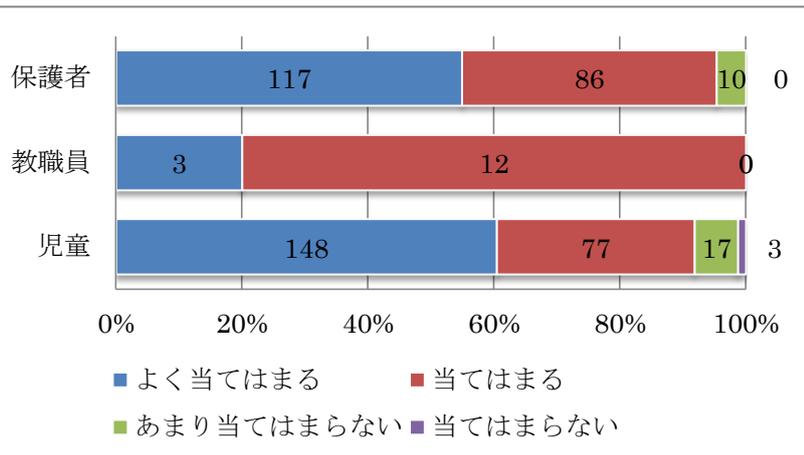


保護者、教職員、児童ともに子供たちが「相手の気持ちを考えて話したり行動したり」できていると評価しています。

これからも日常の教育活動や道徳教育を通じて相手の気持ちを考えられる子供たちを育てていきます。

7

【保護者】 お子さんは仲の良い友達がいって楽しく過ごせていると思いますか。  
 【教職員】 いじめのない温かな学級づくりに努めることができたか。  
 【児童】 あなたは仲の良い友達がいって、クラスは居心地がいいですか。



多くの子供たちが友達と良い関係を築いています。しかしクラスを居心地がよいと感じていない子供が1割ほどいました。

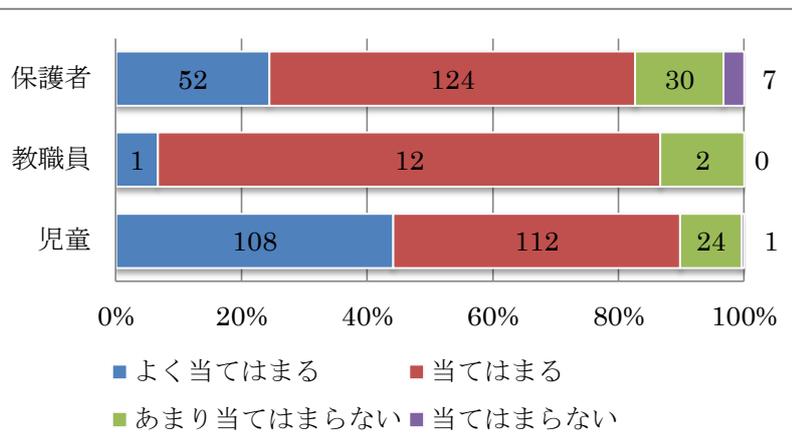
これからも子供たちにとって居心地がよく、いじめのない温かな学級づくりに努めていきます。

## ○ 学び合う子

※数字は該当人数

8

【保護者】 お子さんは授業の内容を理解し、学力の向上に努めていると思いますか。  
 【教職員】 授業を通して、基礎・基本の確実な定着を図り、学力向上の成果が上がっているか。  
 【児童】 勉強したことは、理解できていますか。(勉強はわかりますか)

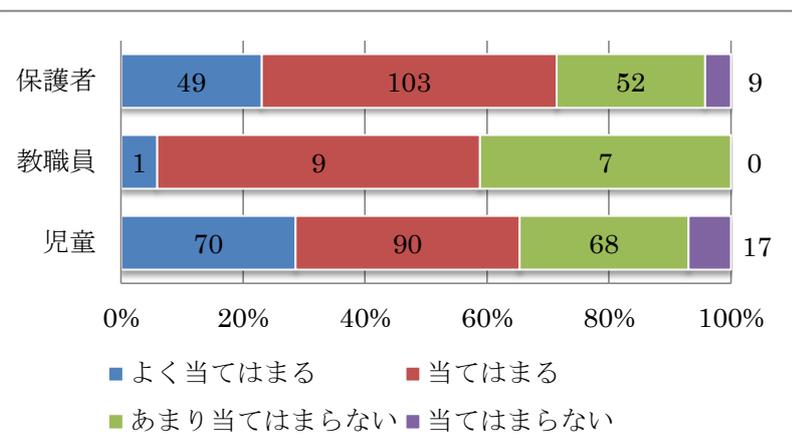


設問に対する肯定的な回答が8割を超えました。学習内容の理解が不十分との回答が1~2割ありました。

学力向上に向けた取組を今後とも重点化して継続していきます。

9

【保護者】 お子さんは分からない内容をそのままにせず、解決しようと努力している。  
 【教職員】 子供たちは、分からないことがあると積極的に聞こうとしているか。  
 【児童】 分からないときは、先生に質問をして分かるようにしていますか。

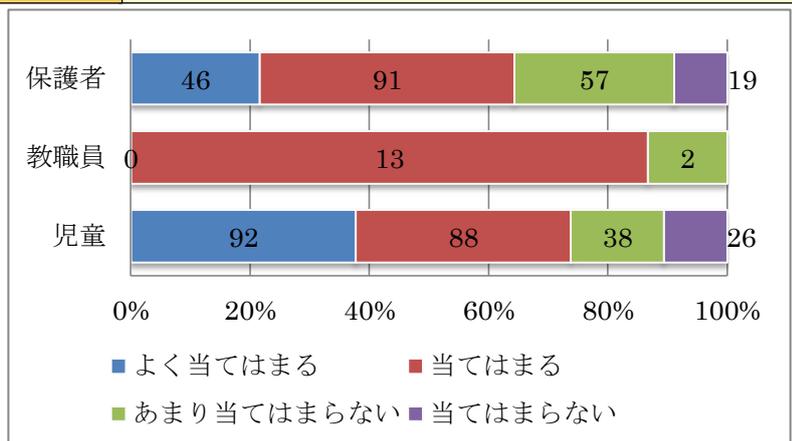


学習内容で分からないことをそのままにしている児童が3割を超えています。

授業中に学習の理解度の把握に努めるとともに、「学習相談日」の機会を生かして分からないことを積み残さないよう改善活動を行っていきます。

10

【保護者】 お子さんは家で、進んで学習や読書に取り組んでいますか。  
 【教職員】 家庭学習も含めて、意欲を持って学習に取り組める工夫ができているか。  
 【児童】 家や学校で、学習や読書に自分から進んで取り組んでいますか。



本校図書室の本の貸し出し数は市内の学校と比べると少なく、読書の習慣が身につけているとは言えないようです。

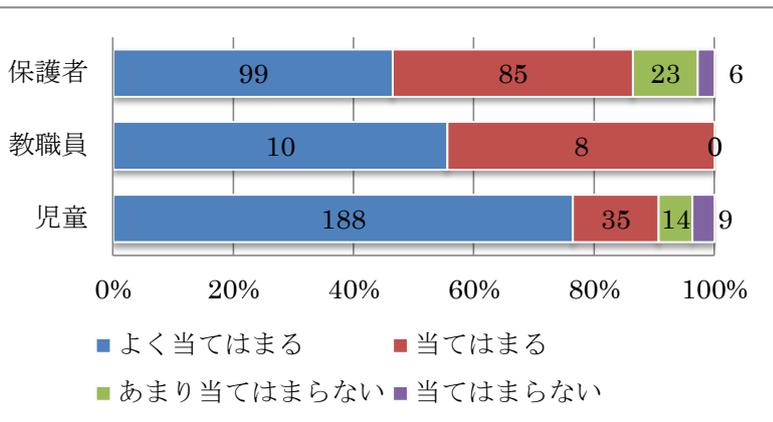
来年度は週時程に読書タイム(読み聞かせ含む)を位置づけ、読書の習慣づけを図っていきます。

## ○ 鍛え合う子

※数字は該当人数

1 1

【保護者】お子さんは進んで体を動かして運動や遊びに取り組んでいると思いますか。  
 【教職員】子供たちは進んで運動や遊びに取り組んでいるか。  
 【児童】体を動かして遊ぶことが好きですか。

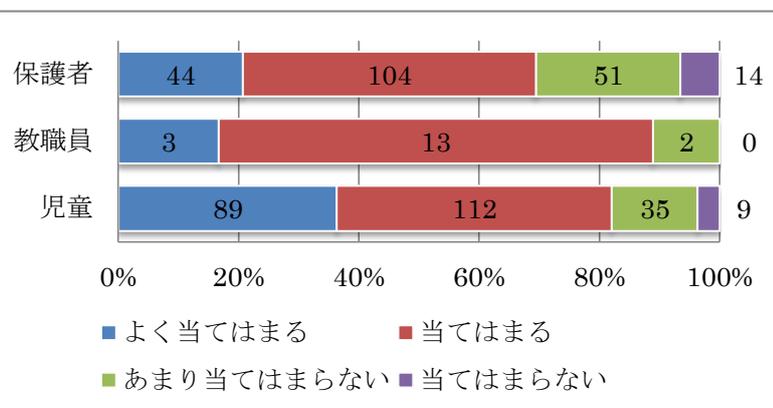


子供たちは毎日外で元気に体を動かしています。ある学年では「スポーツ大会」を企画し、大会に向けて自主的に練習に取り組む姿が見られました。

今後子供たちが意欲的に運動に取り組む働きかけを継続していきます。

1 2

【保護者】お子さんは自分が決めた目標に向かって粘り強く取り組み続けていると思いますか。  
 【教職員】子供たちは目標に向かって粘り強く取り組み続けているか。  
 【児童】あなたは自分が決めたことは最後までやりぬきますか。



学校生活では子供たちの多くが粘り強く気強く取り組んでいます。保護者から見ると少し粘り強さが足りなく感じられる面があるようです。

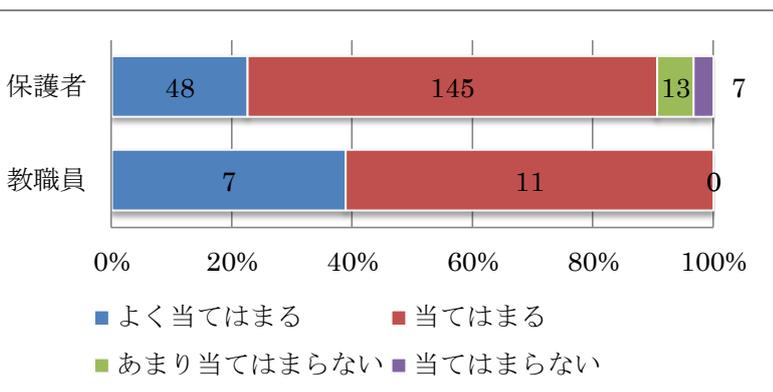
これからも教育活動を通じて「やり続けられる」よう励ましていきます。

## ○ 生徒指導

※数字は該当人数

1 3

【保護者】学校はいじめ等の児童のトラブル未然防止に向けた取組を適切に行っていると思いますか。  
 【教職員】いじめ等の児童のトラブル未然防止に向けた取組を適切に行っているか。

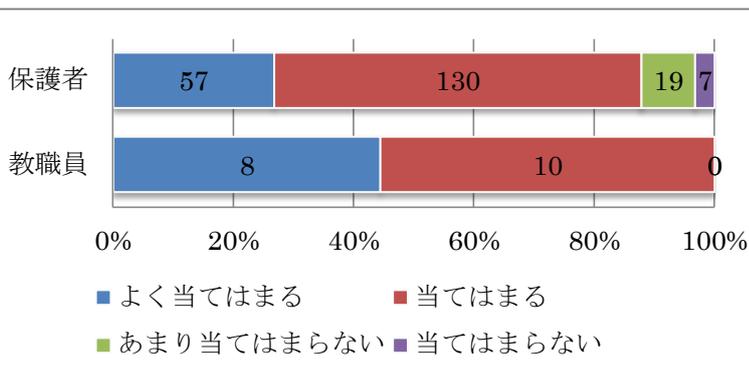


日常の観察に加え、「いじめ防止『きずな』宣言」のシートを活用したアンケート実施してきました。また道徳教育の充実をはじめ、心を育てる教育活動を実施してきました。

今後もしっかりとトラブル未然防止に向けた取組を継続していきます。

14

【保護者】学校はいじめ等の児童のトラブルが起きた場合、適切に対応していると思いますか  
 【教職員】いじめ等の児童のトラブルが起きた場合、適切に対応しているか



トラブル発生に対して適切に対応できていないとの回答が1割を超えています。

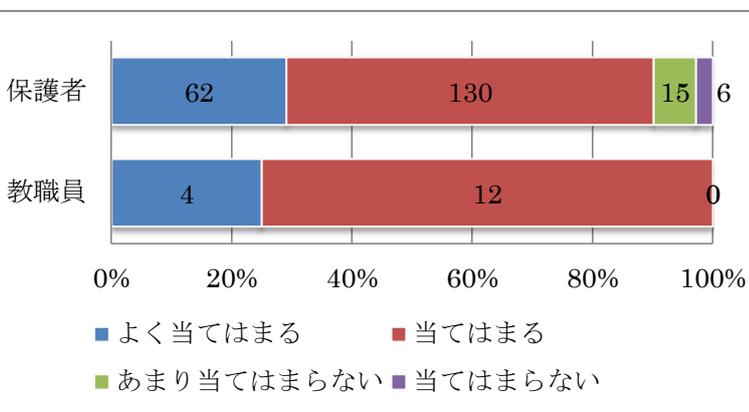
アンケート結果をしっかりと受け止め、トラブル対応が迅速に、また適切に行えるよう職員の意識とスキルの向上を目指していきます。

○ 家庭連携

※数字は該当人数

15

【保護者】あなたに必要な情報が、学校から提供されていますか。  
 【教職員】保護者に必要な情報はきちんと提供できているか。

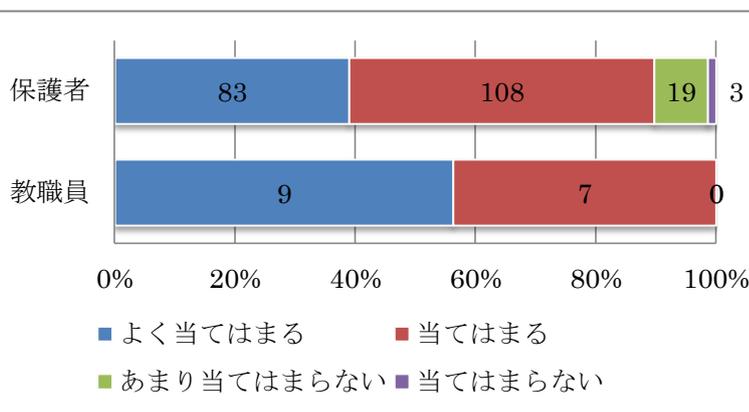


これまでもブログ、学校・学年だより等を通じて松森小の取組や子供たちのよりよい姿を随時発信してきました。

今後も本校の教育活動への理解を深めるとともに、学校、家庭、地域が同一歩調で児童の教育に当たることができるように情報の発信に努めていきます。

16

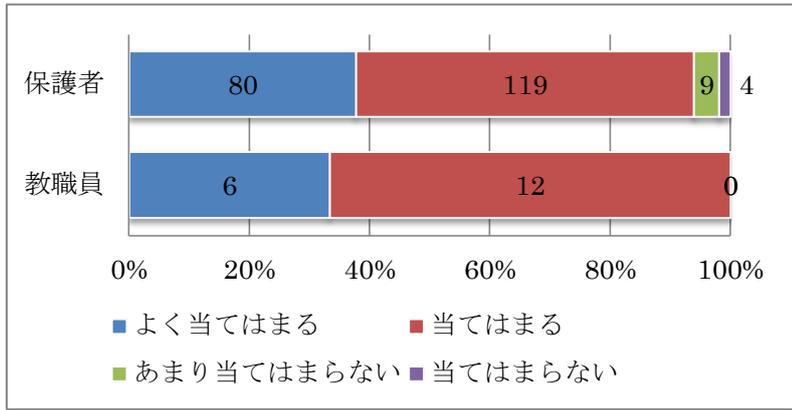
【保護者】児童の願いや悩みに対して、家庭と学校が気軽に連絡を取り合い、相談できる状況であると思いますか。  
 【教職員】家庭から連絡や相談があった場合、迅速に対応し、一緒に考えていく状況をつくるようにしているか。



学校では、子供たちの悩みや課題、行動の変化等を把握し、生徒指導担当教諭、養護教諭、スクールカウンセラーを含めた相談体制を作っています。

今後もしっかり子供たちと向き合っていきます。心配なことは躊躇せずご相談ください。

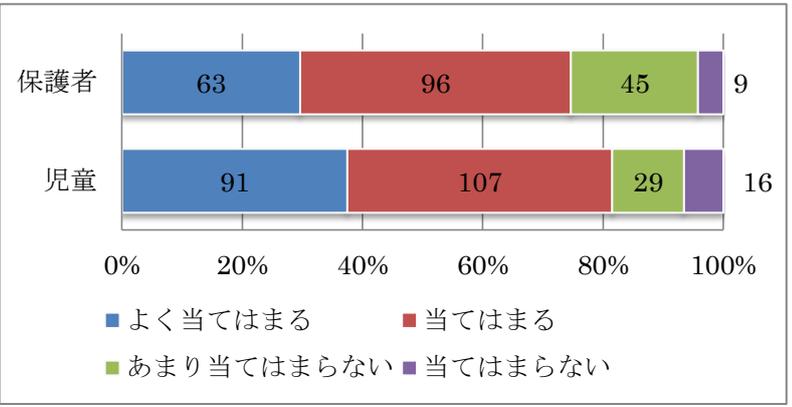
17 【保護者】学校は保護者や地域の方々の意見に耳を傾け、教育活動に取り組んでいると思いますか。  
 【教職員】保護者や地域の方々の意見に耳を傾け、教育活動に取り組んでいるか。



概ね良い評価をいただきました。これからも保護者や地域の方々の意見に耳を傾け、地域と共に歩む学校を目指して教育活動に取り組んでまいります。

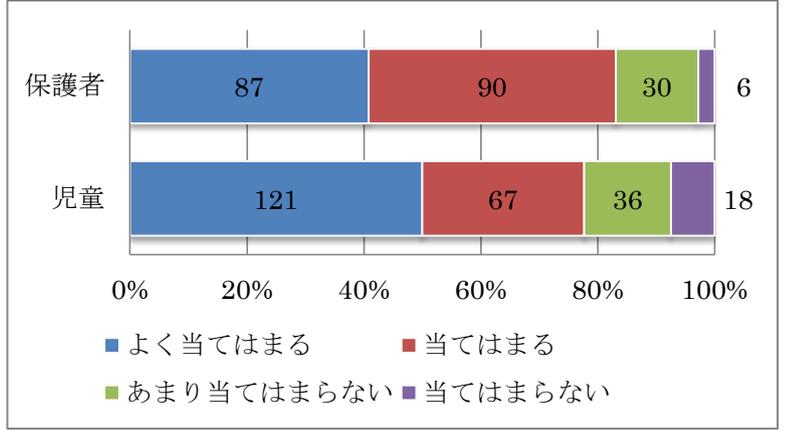
○ 家庭・地域 ※数字は該当人数

18 【保護者】お子さんは地域の行事や活動に進んで参加していますか。  
 【児童】あなたは地域の行事や活動に進んで参加していますか



松森小学区では多くの地域行事が行われており、それに参加するご家庭が多いことがうかがえました。先月行われた「もちつきとだんごさし」でも多くの児童や地域の方々が参加していました。これからも地域の中で子供たちを育てていきたいと思ひます。

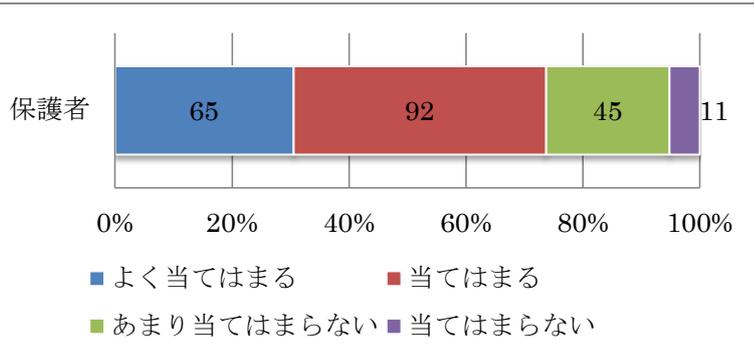
19 【保護者】学校で学んだことや学校での出来事についてお子さんと話す時間を確保していますか。  
 【児童】学校で教わったことや学校での出来事を家の人に話していますか。



多くの家庭で子供たちの話をしっかりと聞いてくださっていることが分かります。これからも子供たちの話をしっかりと聞いていただけるよう保護者の皆様をお願いいたします。

20

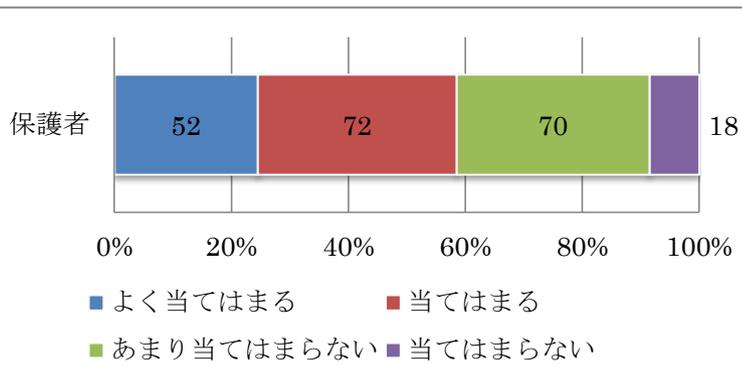
【保護者】家庭では、お子さんがテレビを見たりゲームをしたりする約束（時間）を決めていますか。



「テレビを見たりゲームをしたりする約束（主に時間）を決めている家庭は7割を超えています。他方、約束を決めてない家庭も3割弱います。

21

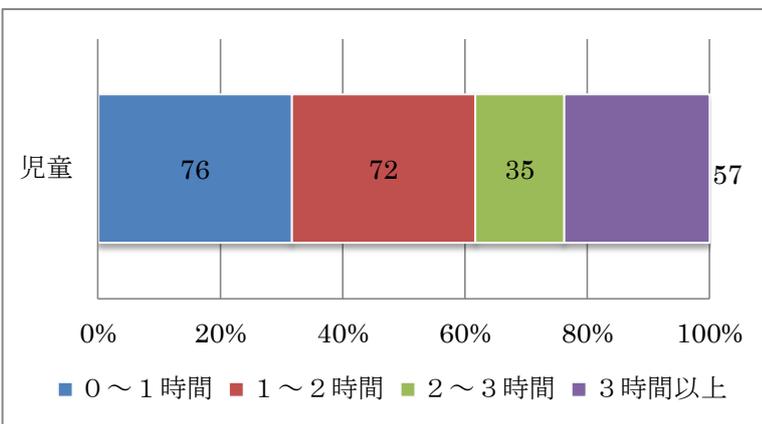
【保護者】お子さんは約束（時間）を守ってテレビを見たりゲームをしたりしていますか



約束があっても、子供たちはその約束がしっかり守れているとは言えないようです。下のグラフ（22）を見ると、約束を守れていない児童は4割を超えています。楽しさのあまりけじめを付けられないでいる子供たちの姿がうかがえます。

22

【児童】1日にだいたいどのくらいの時間、テレビを見たりゲームをしたりしていますか。



「一日のテレビ視聴時間、ゲームで遊ぶ時間」を子供たちに聞いたところ、およそ6割が2時間以内となっていました。なかには2時間、3時間を超えてテレビを見たりゲームをしたりしている児童もいます。

項目20～22の回答から、子供たちのメディアとの付き合い方に課題があることがうかがえました。そこで、平成30年度の協働型学校評価の重点目標を、

**（仮称）しっかり食べて、たっぷり運動し、ぐっすり眠る 松森っ子の育成**

と設定し、学力向上の土台となる子供たちの生活習慣の改善を学校・家庭・地域の三者協働で図っていきたいと考えています。